

やさいレポート（令和8年8月号）



キャベツ



発行日：令和8年8月7日

1. 卸売価格の動向

○117 円/kg（8月4日）

➢ 平年比：144%

○8月の価格見通し

平年並みで推移

（農林水産省、東京都中央卸売市場）

2. 小売価格の動向

○166 円/kg

（7月10日全国平均）

➢ 前月比：92%、平年比：102%

➢ 東京：190 円（1玉）

➢ 大阪：214 円（1玉）

○特売店舗数／調査店舗数

➢ 東京：9/20（前月 6/20）

➢ 大阪：3/10（前月 3/10）

（機構調べ）

3. 家計消費動向

○454 g/人（6月全国平均）

➢ 前月比：96%

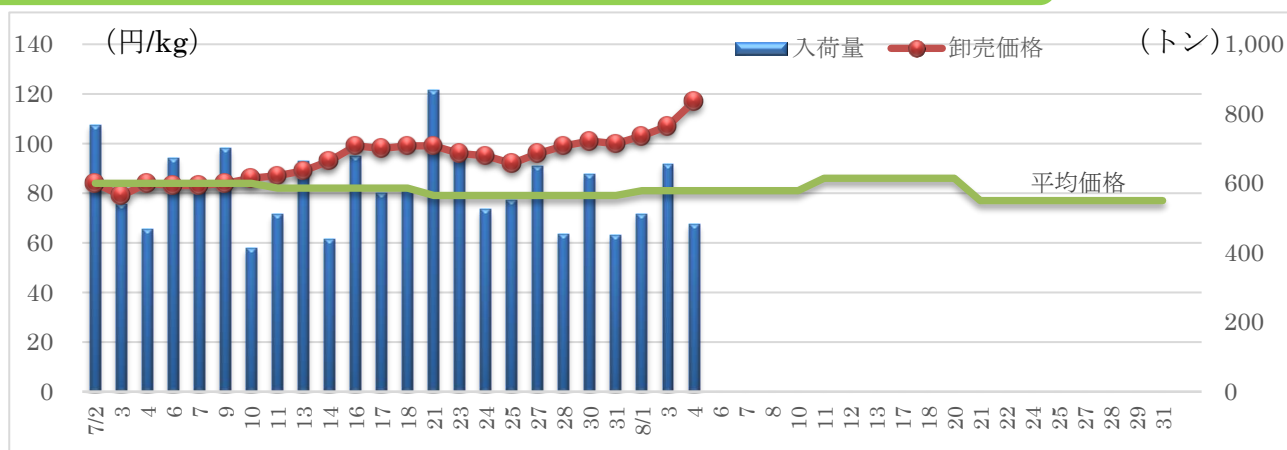
➢ 前年同月比：102%

○5,293 g/人（2025 年年間）

➢ 前年比：99%

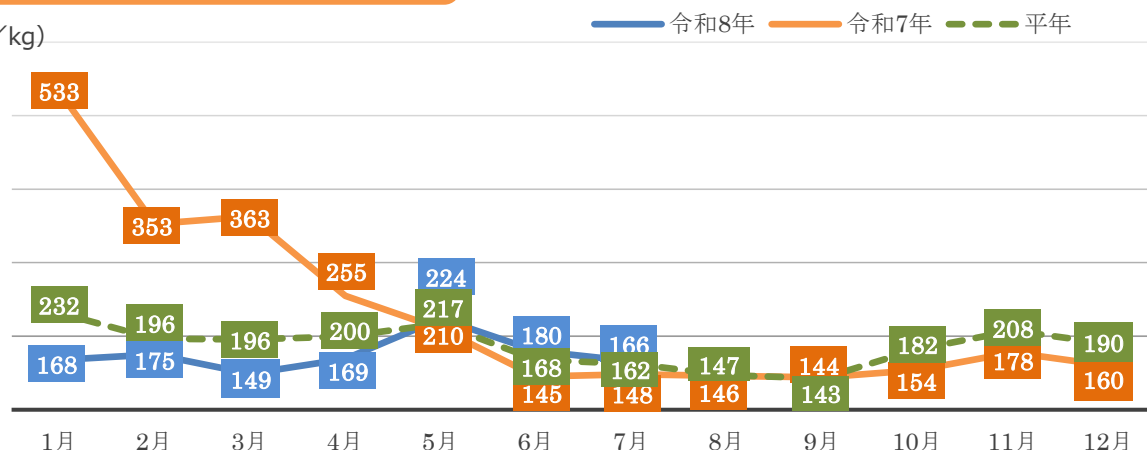
（総務省統計局家計調査）

4. キャベツの卸売価格と入荷量の推移（東京都中央卸売市場）



5. キャベツの小売価格の推移

（円/kg）



6. 主産地の生育・出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
北海道南幌町 (7/23)	前年並み	豊作	早い	平年並み
岩手県いわて (7/13)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
群馬県嬬恋村 (7/23)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
東京都練馬区 (5/21)	前年並み	豊作	早い	早い

※特記ない場合は平年比。() 内は調査日。

(機構調べ)



群馬県嬬恋村：圃場の様子

7. 向こう1ヶ月の気象情報 (8/8~9/4)

週 別 の 天 候				
8/8~8/14	北日本では、天気は数日の周期で変わると見られる。東日本日本海側では、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。東日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。西日本と沖縄・奄美では、台風第13号の影響を受けやすいため平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。			
8/15~8/21	北日本では、天気は数日の周期で変わりますが、高気圧に覆われやすいため、北日本日本海側では、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。東日本太平洋側、沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。			
8/22~9/4	北日本では、天気は数日の周期で変わると見られる。東・西日本と沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。			
		平均気温 (1か月)	降水量 (1か月)	日照時間 (1か月)
北日本	日本海側	低20 並30 高50% 高い見込み	少50 並30 多20% 少ない見込み	少20 並40 多40% 平年並みが多い見込み
	太平洋側		少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み
東日本	日本海側	低10 並40 高50% 高い見込み	少50 並30 多20% 少ない見込み	少20 並30 多50% 多い見込み
	太平洋側		少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み
西日本	日本海側	低10 並30 高60% 高い見込み	少40 並40 多20% 平年並みか少ない見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み

(気象庁 1 力月予報)

8. 輸入動向 (生鮮キャベツ)

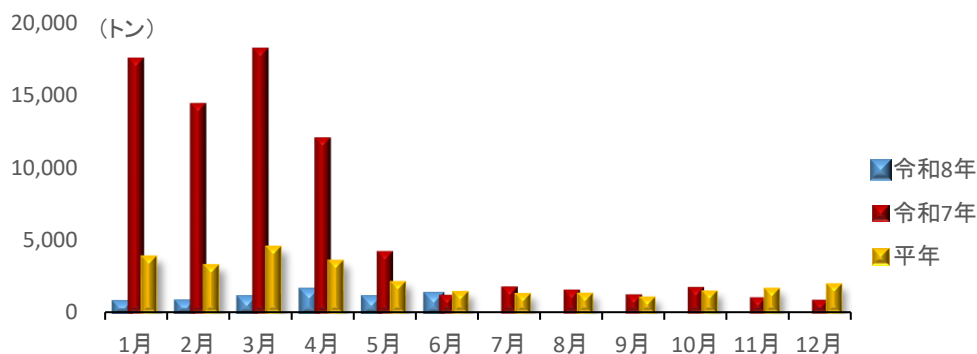
○1,132 トン (6 月輸入量)

➢ 前年同月比：101%

○輸入先国ベスト3

全量、中国からの輸入

(財務省貿易統計)



9. 一口メモ

7 月は、群馬・岩手産主体の入荷となった。各産地とも生育は概ね順調であったことから、上旬は平年並みの価格であったが、中旬以降、夏場の高温・干ばつにより生育が一時的に停滞して入荷が減ったことから、平年を上回る価格となった。

8 月は、群馬・岩手産主体の出荷となる。群馬産は現在の作型は高温・干ばつで小玉傾向となっているが、次期作の生育は概ね順調。岩手産は少雨の影響で生育遅延がみられるも回復傾向であることから、月の前半は出荷量は平年を下回り、価格は平年を上回って推移し、月の後半は出荷量・価格とも平年並みで推移する見込み。

本データは全てベジ探から入手できます。

詳細はベジ探をご覧ください。

ベジ探：<https://vegetan.alic.go.jp/>

農畜産業振興機構

野菜業務部 管理業務課

やさいレポート（令和8年8月号）



だいこん



発行日：令和8年8月7日

1. 卸売価格の動向

○163 円/kg（8月4日）

➤ 平年比：154%

○8月の価格見通し

平年並みで推移

（農林水産省、東京都中央卸売市場）

2. 小売価格の動向

○236 円 /kg

（7月10日全国平均）

➤ 前月比：118%、平年比：123%

➤ 東京：277 円（1本）

➤ 大阪：274 円（1本）

○特売店舗数／調査店舗数

➤ 東京：4/20（前月 4/20）

➤ 大阪：2/10（前月 1/10）

（機構調べ）

3. 家計消費動向

○216g/人（6月全国平均）

➤ 前月比：91%

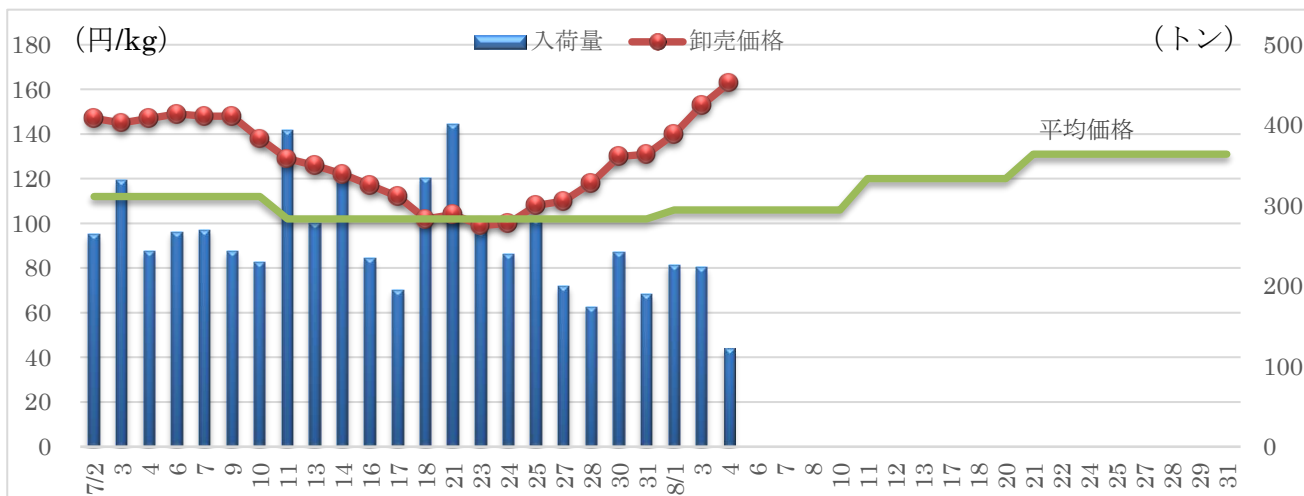
➤ 前年同月比：120%

○3,417g/人（2025 年年間）

➤ 前年比：100%

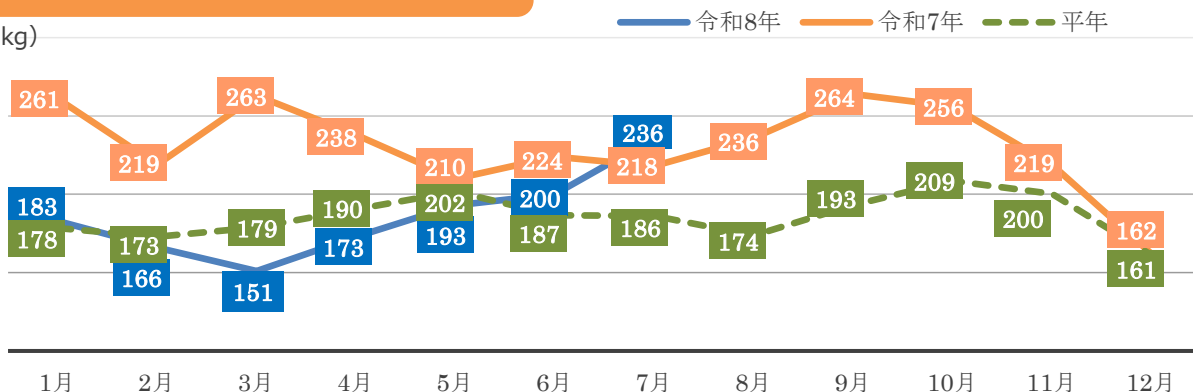
（総務省統計局家計調査）

4. だいこんの卸売価格と入荷量の推移（東京都中央卸売市場）



5. だいこんの小売価格の推移

（円/kg）



6. 主産地の生育・出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
青森県おいらせ (7/7)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み

※特記ない場合は平年比。() 内は調査日。

(機構調べ)



青森県おいらせ：圃場の様子

7. 向こう1ヶ月の気象情報 (8/8~9/4)

週 別 の 天 候				
8/8~8/14	北日本では、天気は数日の周期で変わるでしょう。 東日本日本海側では、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 東日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 西日本と沖縄・奄美では、台風第13号の影響を受けやすいため平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。			
8/15~8/21	北日本では、天気は数日の周期で変わりますが、高気圧に覆われやすいため、北日本日本海側では、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 東日本日本海側、西日本では、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 東日本太平洋側、沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。			
8/22~9/4	北日本では、天気は数日の周期で変わるでしょう。 東・西日本と沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。			
		平均気温 (1か月)	降水量 (1か月)	日照時間 (1か月)
北日本	日本海側	低20 並30 高50%	少50 並30 多20% 少ない見込み	少20 並40 多40% 平年並が多い見込み
	太平洋側	高い見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み
東日本	日本海側	低10 並40 高50%	少50 並30 多20% 少ない見込み	少20 並30 多50% 多い見込み
	太平洋側	高い見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み
西日本	日本海側	低10 並30 高60%	少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側	高い見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み

(気象庁1カ月予報)

8. 輸入動向 (生鮮その他根菜類) ※にんじん・かぶ・ごぼうは除く

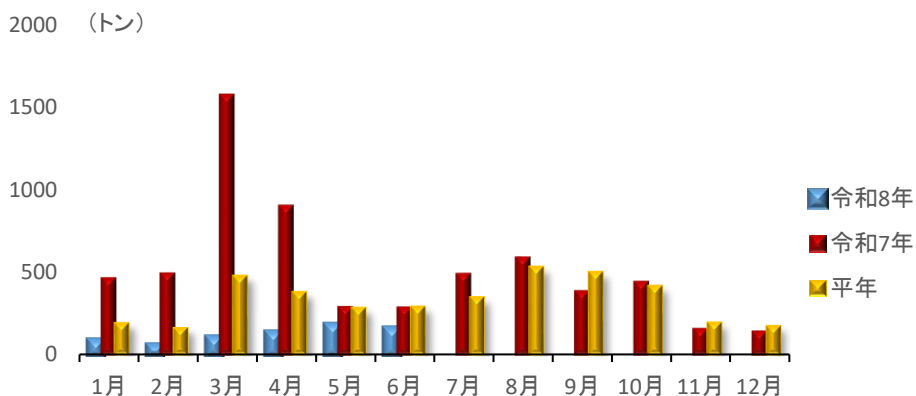
○153トン (6月輸入量)

➢ 前年同月比：54%

○輸入先国ベスト3

1位 中国	145トン
2位 豪州	4トン
3位 オランダ	4トン

(財務省貿易統計)



9. 一口メモ

7月は、北海道・青森産主体の入荷となった。6月の低温や梅雨明け以降の高温などから月を通して平年を下回る入荷となった。上旬は入荷が少なかったために平年を大幅に上回ったが、中旬以降は入荷も増えたこと、高温で需要の減退などから、旬を追うごとに価格は下がったが、月を通して平年を上回った。

8月は、北海道・青森産主体の出荷となる。両産地とも現在の生育は概ね順調で、出荷量・価格とも平年並みで推移する見込み。

本データは全てベジ探から入手できます。

詳細はベジ探をご覧ください。

ベジ探：<https://vegetan.alic.go.jp/>

農畜産業振興機構

野菜業務部 管理業務課



たまねぎ



発行日：令和8年8月7日

1. 卸売価格の動向

○160 円/kg（8月4日）

➤ 平年比：113%

○8月の価格見通し

平年並みで推移

（農林水産省、東京都中央卸売市場）

2. 小売価格の動向

○313 円/kg

（7月10日全国平均）

➤ 前月比：108%、平年比：102%

➤ 東京：294 円（3玉）

➤ 大阪：247 円（3玉）

○特売店舗数／調査店舗数

➤ 東京：8/20（前月 9/20）

➤ 大阪：4/10（前月 6/10）
（機構調べ）

3. 家計消費動向

○371g/人（6月全国平均）

➤ 前月比：76%

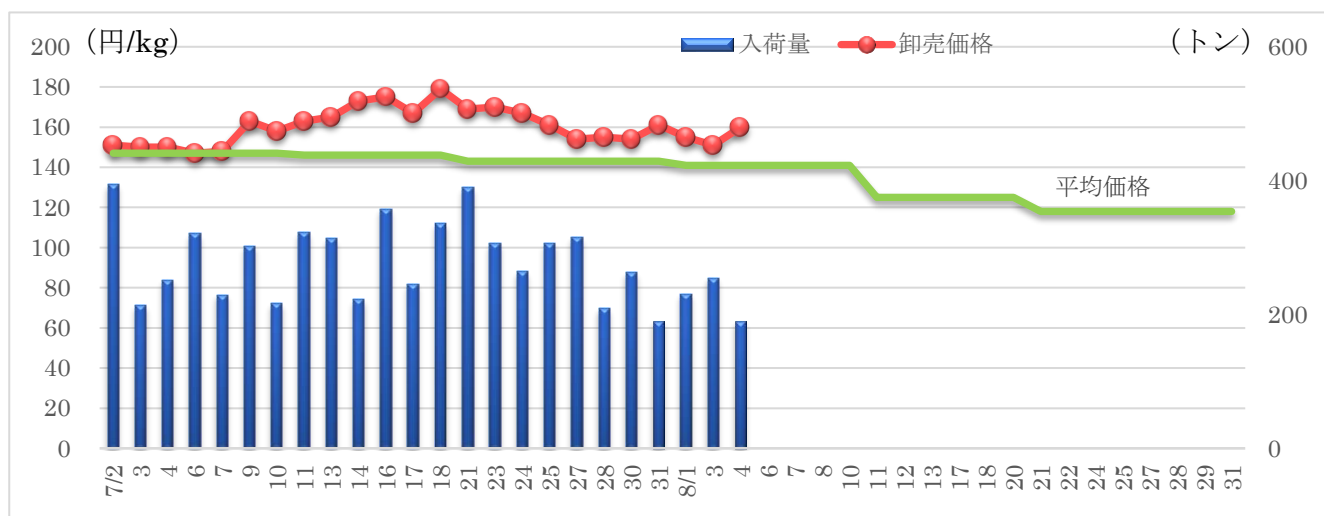
➤ 前年同月比：97%

○5,007g/人（2025 年年間）

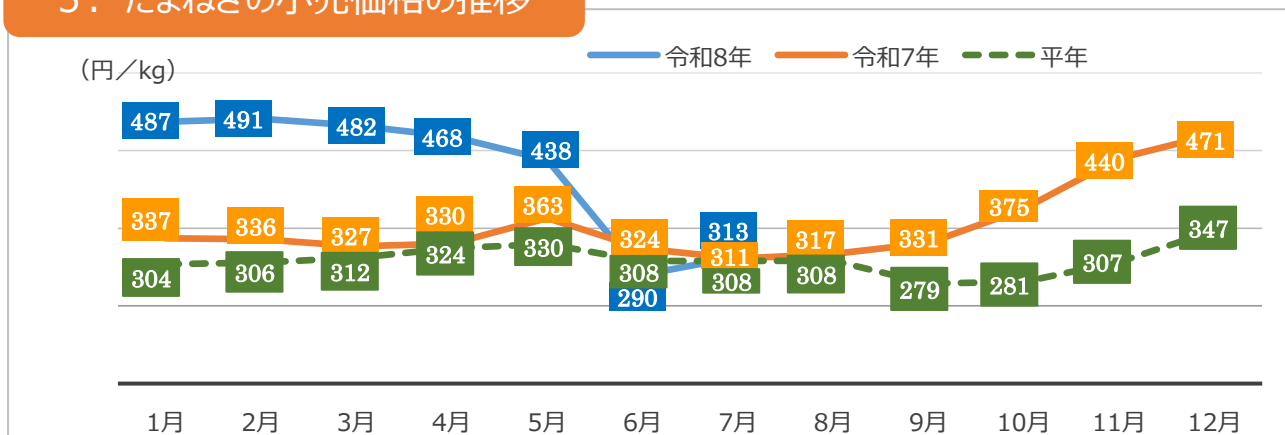
➤ 前年比：97%

（総務省統計局家計調査）

4. たまねぎの卸売価格と入荷量の推移（東京都中央卸売市場）



5. たまねぎの小売価格の推移



6. 主産地の生育・出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
北海道岩見沢市 (7/23)	前年並み	豊作	平年並み	平年並み
愛知県碧南市 (5/12)	増加	平年並み	平年並み	平年並み
兵庫県淡路島 (6/3)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
香川県豊南 (6/18)	増加	平年並み	平年並み	平年並み
愛媛県西条市 (7/23)	やや減少	やや不良	平年並み	平年並み
佐賀県白石 (6/4)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み

※特記ない場合は平年比。()内は調査日。

(機構調べ)



北海道岩見沢市：圃場の様子

7. 向こう1ヶ月の気象情報(8/8~9/4)

週別の天候				
8/8~8/14	北日本では、天気は数日の周期で変わるでしょう。 東日本日本海側では、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 東日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 西日本と沖縄・奄美では、台風第13号の影響を受けやすいため平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。			
8/15~8/21	北日本では、天気は数日の周期で変わりますが、高気圧に覆われやすいため、北日本日本海側では、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 東日本日本海側、西日本では、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 東日本太平洋側、沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。			
8/22~9/4	北日本では、天気は数日の周期で変わるでしょう。 東・西日本と沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。			
		平均気温(1か月)	降水量(1か月)	日照時間(1か月)
北日本	日本海側	低20 並30 高50% 高い見込み	少50 並30 多20% 少ない見込み	少20 並40 多40% 平年並みが多い見込み
	太平洋側		少40 並30 多30% ほぼ平年並みの見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並みの見込み
東日本	日本海側	低10 並40 高50% 高い見込み	少50 並30 多20% 少ない見込み	少20 並30 多50% 多い見込み
	太平洋側		少30 並40 多30% ほぼ平年並みの見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並みの見込み
西日本	日本海側	低10 並30 高60% 高い見込み	少40 並40 多20% 平年並みが少ない見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並みの見込み
	太平洋側		少30 並40 多30% ほぼ平年並みの見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並みの見込み

(気象庁1カ月予報)

8. 輸入動向(生鮮たまねぎ)

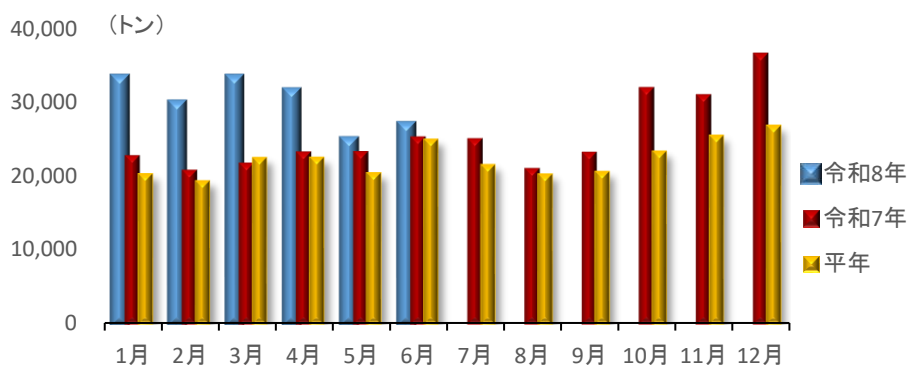
○26,889 t (6月輸入量)

➤ 前年同月比: 107%

○輸入先国ベスト3

- 1位 中国 24,559 トン
- 2位 ニュージーランド 1,849 トン
- 3位 豪州 481 トン

(財務省貿易統計)



9. 一口メモ

7月は、佐賀・兵庫産主体の入荷で、下旬から北海道産も入荷された。兵庫・佐賀産は貯蔵ものの中心の入荷で、兵庫産は干ばつの影響で小玉傾向となり平年を下回った。北海道産は雨で収穫が進まず少なくなったことから、月を通して平年を下回る入荷となった。価格は入荷量に合わせて上下するものの、月を通して平年を上回った。

8月は、兵庫・佐賀産から北海道産主体の出荷へと切り替わる。主産地の生育は概ね順調であり、大玉傾向となっていることから、出荷量・価格とも平年並みで推移する見込み。

本データは全てベジ探から入手できます。
詳細はベジ探をご覧ください。

ベジ探: <https://vegetan.alic.go.jp/>

農畜産業振興機構

野菜業務部 管理業務課

やさいレポート（令和8年8月号）



にんじん



発行日：令和8年8月7日

1. 卸売価格の動向

○103 円/kg（8月4日）

➢ 平年比：77%

○8月の価格見通し

前半は平年を下回って
推移

後半は平年並みで推移

（農林水産省、東京都中央卸売市場）

2. 小売価格の動向

○448 円/kg

（7月10日全国平均）

➢ 前月比：108%、平年比：104%

➢ 東京：216 円（3本）

➢ 大阪：218 円（3本）

○特売店舗数／調査店舗数

➢ 東京：10/20（前月 6/20）

➢ 大阪：1/10（前月 2/10）

（機構調べ）

3. 家計消費動向

○195g/人（6月全国平均）

➢ 前月比：88%

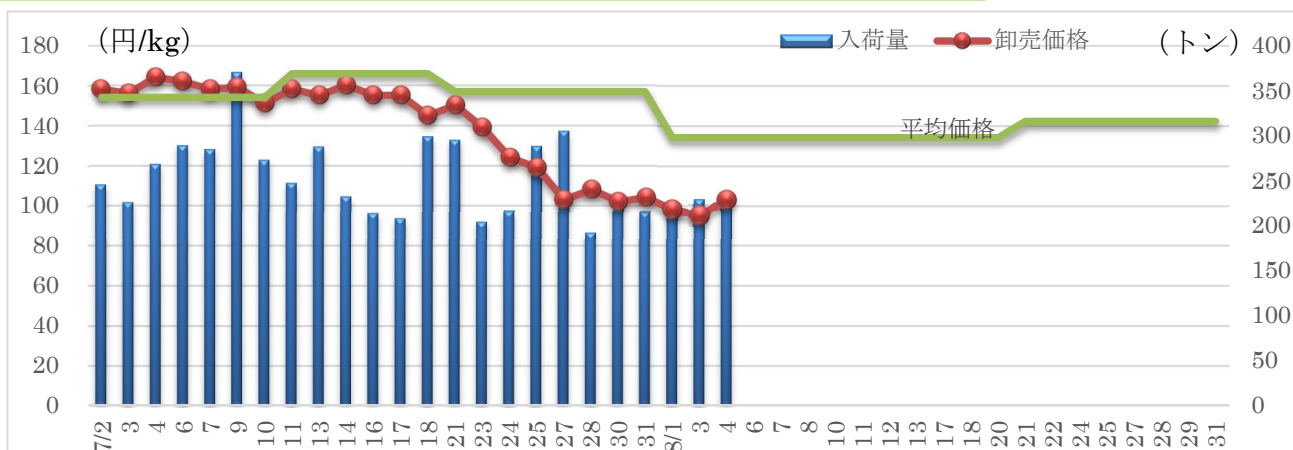
➢ 前年同月比：106%

○2,497g/人（2025 年年間）

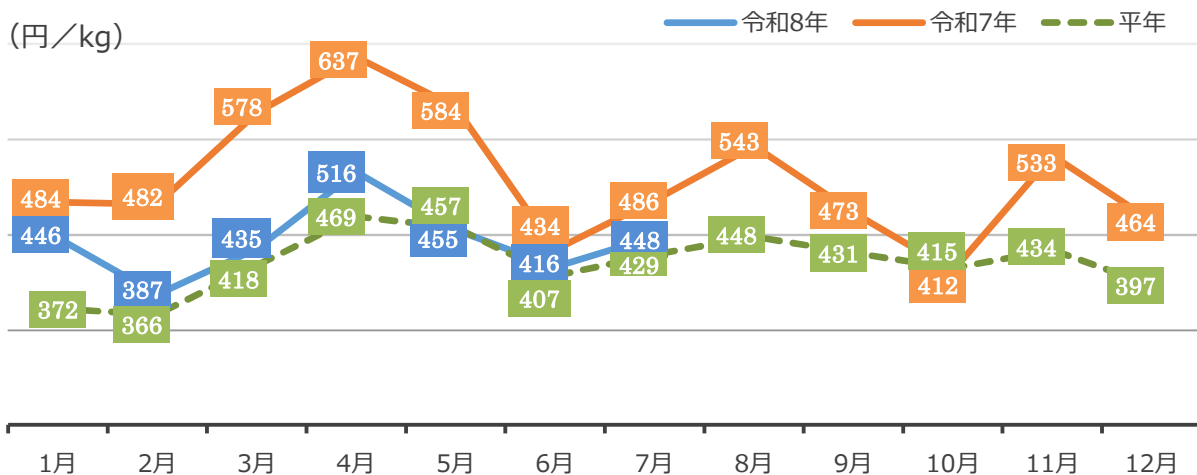
➢ 前年比：98%

（総務省統計局家計調査）

4. にんじんの入荷量と価格の推移（東京都中央卸売市場）



5. にんじんの小売価格の推移



6. 主産地の生育・出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
北海道富良野 (7/14)	前年並み	やや良	平年並み	早い
青森県三沢 (7/16)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
徳島県吉野川流域 (4/21)	前年並み	平年並み	平年並み	早い

※特記ない場合は平年比。() 内は調査日。

(機構調べ)



北海道富良野市：圃場の様子

7. 向こう1ヶ月の気象情報 (8/8~9/4)

週 別 の 天 候				
8/8~8/14	北日本では、天気は数日の周期で変わって来よう。 東日本日本海側では、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 東日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 西日本と沖縄・奄美では、台風第13号の影響を受けやすいため平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。			
8/15~8/21	北日本では、天気は数日の周期で変わりますが、高気圧に覆われやすいため、北日本日本海側では、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 東日本日本海側、西日本では、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 東日本太平洋側、沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。			
8/22~9/4	北日本では、天気は数日の周期で変わって来よう。 東・西日本と沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。			
		平均気温 (1か月)	降水量 (1か月)	日照時間 (1か月)
北日本	日本海側	低20 並30 高50% 高い見込み	少50 並30 多20% 少ない見込み	少20 並40 多40% 平年並み多い見込み
	太平洋側		少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み
東日本	日本海側	低10 並40 高50% 高い見込み	少50 並30 多20% 少ない見込み	少20 並30 多50% 多い見込み
	太平洋側		少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み
西日本	日本海側	低10 並30 高60% 高い見込み	少40 並40 多20% 平年並み少ない見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み

(気象庁 1 カ月予報)

8. 輸入動向 (生鮮にんじん)

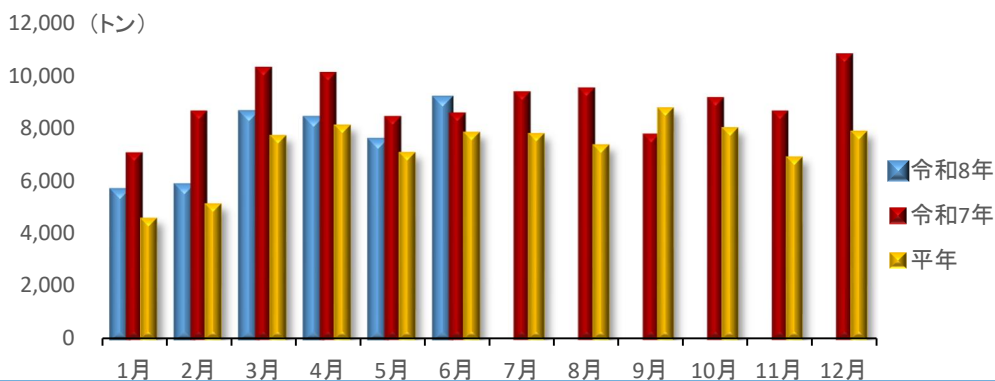
○9,090 トン (6月輸入量)

➢ 前年同月比：106%

○輸入先国ベスト3

- 1 位 中国 8,880 トン
- 2 位 豪州 200 トン
- 3 位 アメリカ 7 トン

(財務省貿易統計)



9. 一口メモ

7月は、千葉産が上旬で概ね終了し、青森・北海道産主体の入荷となった。主産地の生育はおおむね順調の中、北海道産は前進傾向となった。月を通して平年を上回る入荷となった。高温による消費の減退などから、旬を追うごとに価格が下がり、下旬は平年を大幅に下回った。

8月は、青森産から北海道産中心の出荷へと切り替わる。青森産は8月中旬に切り上がる見込み。北海道産は適度な降雨と気温の上昇により生育は前進傾向となっていることから、月の前半の出荷量は平年をやや上回り、価格は平年を下回って推移し、月の後半は出荷量・価格とも平年並みで推移する見込み。

本データは全てベジ探から入手できます。

詳細はベジ探をご覧ください。

ベジ探：<https://vegetan.alic.go.jp/>

農畜産業振興機構

野菜業務部 管理業務課

やさいレポート（令和8年8月号）



はくさい



発行日：令和8年8月7日

1. 卸売価格の動向

○127 円/kg（8月4日）

➢ 平年比：176%

○8月の価格見通し

前半はやや平年を上回っ
て推移

後半は平年並みで推移

（農林水産省、東京都中央卸売市場）

2. 小売価格の動向

○217 円/kg

（7月10日全国平均）

➢ 前月比：104%、平年比：97%

➢ 東京：153 円（1/4 玉）

➢ 大阪：146 円（1/4 玉）

○特売店舗数／調査店舗数

➢ 東京：2/20（前月 2/20）

➢ 大阪：1/10（前月 1/10）

（機構調べ）

3. 家計消費動向

○90g/人（5月全国平均）

➢ 前月比：72%

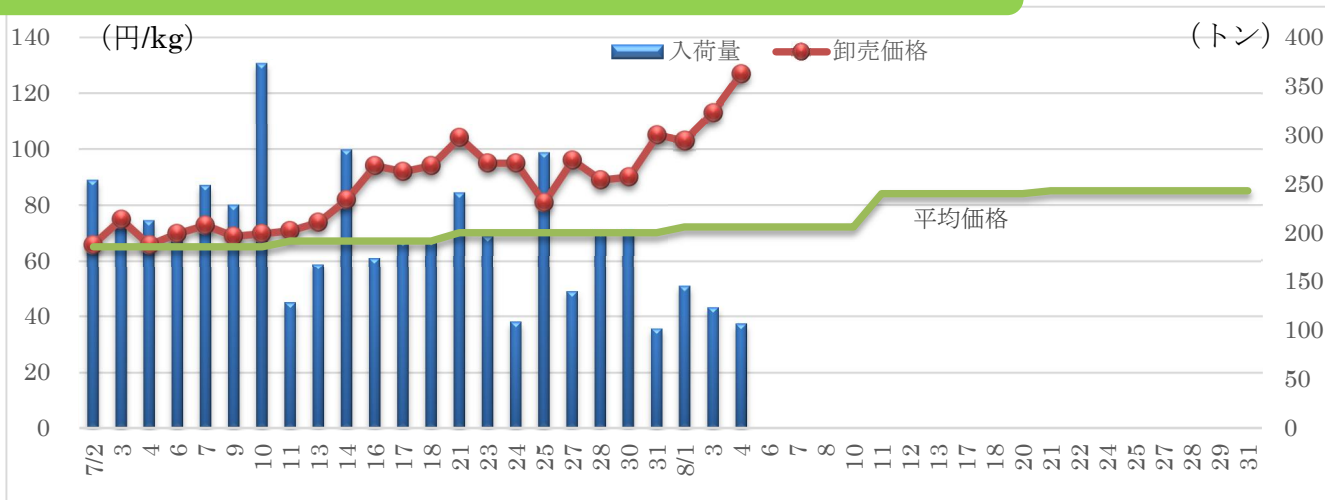
➢ 前年同月比：106%

○2,533g/人（2025 年年間）

➢ 前年比：99%

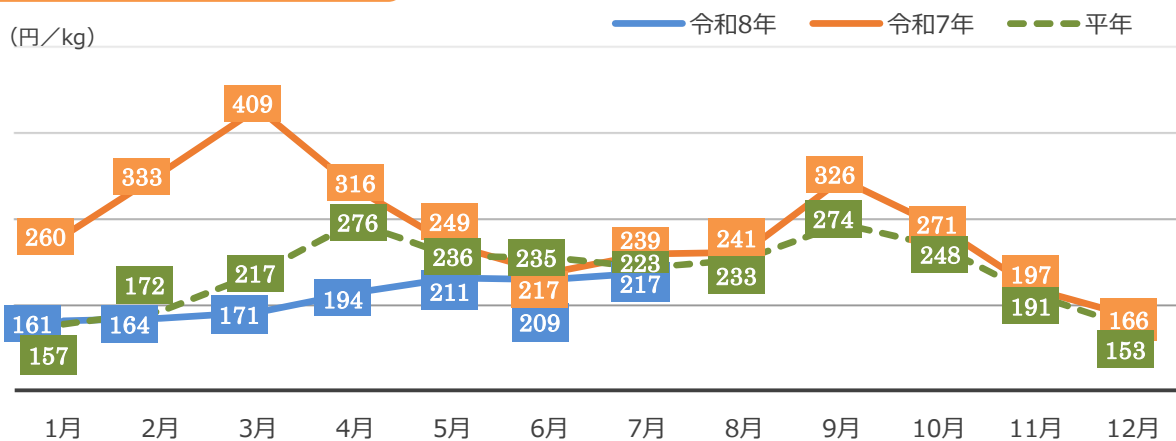
（総務省統計局家計調査）

4. はくさいの卸売価格と数量の推移（東京都中央卸売市場）



5. はくさいの小売価格の推移

(円/kg)



6. 主産地の生育・出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
群馬県あがつま (7/23)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
長野県南佐久 (7/13)	減少	平年並み	平年並み	早い

※特記ない場合は平年比。() 内は調査日。

(機構調べ)



長野県南佐久：圃場の様子

7. 向こう1ヶ月の気象情報 (8/8~9/4)

週 別 の 天 候				
8/8~8/14	北日本では、天気は数日の周期で変わって来よう。 東日本日本海側では、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 東日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 西日本と沖縄・奄美では、台風第13号の影響を受けやすいため平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。			
8/15~8/21	北日本では、天気は数日の周期で変わりますが、高気圧に覆われやすいため、北日本日本海側では、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 東日本日本海側、西日本では、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 東日本太平洋側、沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。			
8/22~9/4	北日本では、天気は数日の周期で変わって来よう。 東・西日本と沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。			
		平均気温 (1か月)	降水量 (1か月)	日照時間 (1か月)
北日本	日本海側	低20 並30 高50%	少50 並30 多20% 少ない見込み	少20 並40 多40% 平年並みが多い見込み
	太平洋側	高い見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み
東日本	日本海側	低10 並40 高50%	少50 並30 多20% 少ない見込み	少20 並30 多50% 多い見込み
	太平洋側	高い見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み
西日本	日本海側	低10 並30 高60%	少40 並40 多20% 平年並みか少ない見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側	高い見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み

(気象庁1カ月予報)

8. 輸入動向 (はくさい)

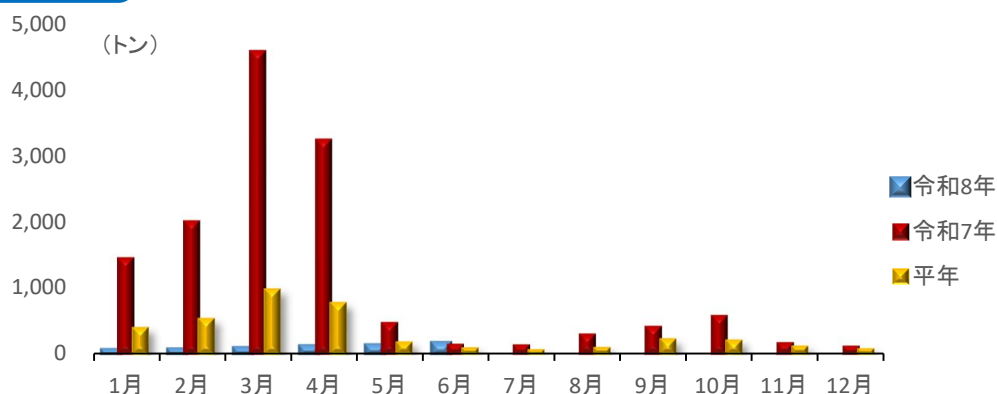
○132 t (6月輸入量)

➤ 前年同月比：105%

○輸入先国ベスト3

全量、中国からの輸入

(財務省貿易統計)



9. 一口メモ

7月は、長野・群馬産主体の入荷となった。前月までは品薄で高かった価格も上旬は入荷も増えて落ち着いたが、高温・干ばつの影響等から中旬以降入荷量が減少して価格が上がり、月を通して平年を上回る価格となった。

8月は、長野産主体の出荷となる。7月の高温・少雨の影響で出荷量が減少していることから、月の前半は出荷量は平年をやや下回り、価格は平年をやや上回って推移し、月の後半は出荷量・価格とも平年並みで推移する見込み。

本データは全てベジ探から入手できます。

詳細はベジ探をご覧ください。

ベジ探： <https://vegetan.alic.go.jp/>

農畜産業振興機構

野菜業務部 管理業務課

やさいレポート（令和8年8月号）



レタス



発行日：令和8年8月7日

1. 卸売価格の動向

○191 円/kg (8月4日)

➤ 平年比：121%

○8月の価格見通し

平年並みで推移

(農林水産省、東京都中央卸売市場)

2. 小売価格の動向

○323 円/kg

(7月10日全国平均)

➤ 前月比：93%、平年比：103%

➤ 東京：134 円 (1玉)

➤ 大阪：152 円 (1玉)

○特売店舗数／調査店舗数

➤ 東京：9/20 (前月 7/20)

➤ 大阪：5/10 (前月 2/10)

(機構調べ)

3. 家計消費動向

○193g/人 (6月全国平均)

➤ 前月比：89%

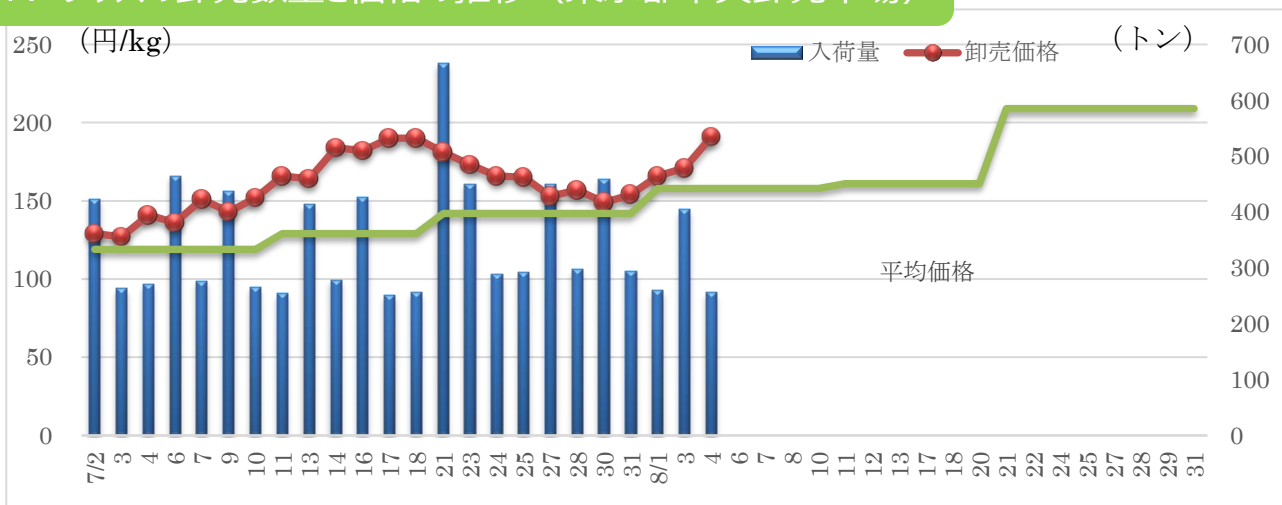
➤ 前年同月比：88%

○2,030g/人 (2025 年年間)

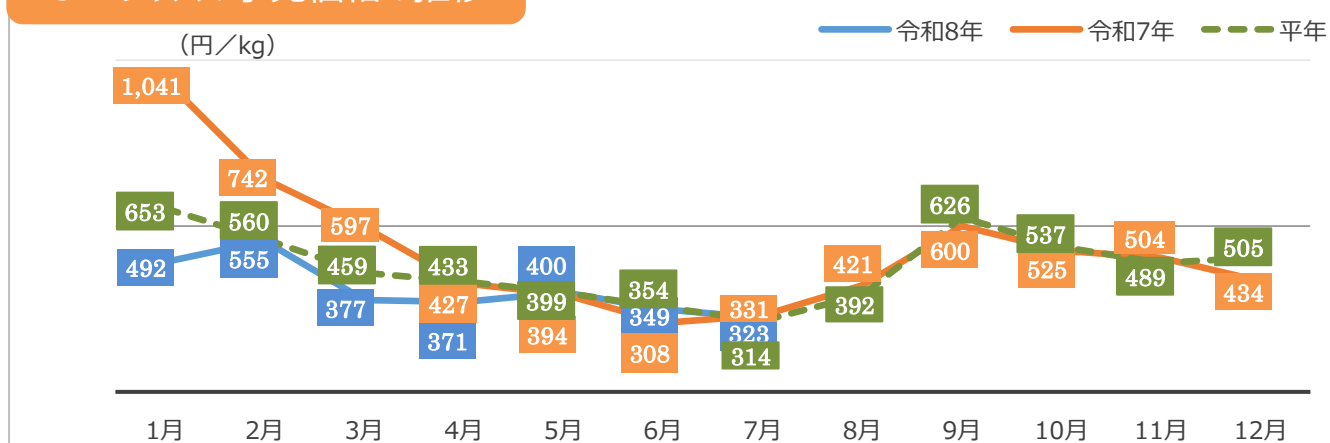
➤ 前年比：107%

(総務省統計局家計調査)

4. レタスの卸売数量と価格の推移（東京都中央卸売市場）



5. レタスの小売価格の推移



6. 主産地の生育・出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
岩手県奥中山 (7/15)	減少	やや良	平年並み	平年並み
群馬県あがつま (6/22)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
長野県南佐久 (6/3)	減少	平年並み	平年並み	早い～平年並み

※特記ない場合は平年比。() 内は調査日。

(機構調べ)



長野県南佐久：圃場の様子

7. 向こう1ヶ月の気象情報 (8/8～9/4)

週 別 の 天 候				
8/8～8/14	北日本では、天気は数日の周期で変わって来よう。 東日本日本海側では、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 東日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 西日本と沖縄・奄美では、台風第13号の影響を受けやすいため平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。			
8/15～8/21	北日本では、天気は数日の周期で変わりますが、高気圧に覆われやすいため、北日本日本海側では、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 東日本日本海側、西日本では、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 東日本太平洋側、沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。			
8/22～9/4	北日本では、天気は数日の周期で変わって来よう。 東・西日本と沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。			
		平均気温 (1か月)	降水量 (1か月)	日照時間 (1か月)
北日本	日本海側	低20 並30 高50% 高い見込み	少50 並30 多20% 少ない見込み	少20 並40 多40% 平年並みか多い見込み
	太平洋側		少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み
東日本	日本海側	低10 並40 高50% 高い見込み	少50 並30 多20% 少ない見込み	少20 並30 多50% 多い見込み
	太平洋側		少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み
西日本	日本海側	低10 並30 高60% 高い見込み	少40 並40 多20% 平年並みか少ない見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み

(気象庁1カ月予報)

8. 輸入動向 (生鮮結球レタス)

○ 2 t (6月輸入量)

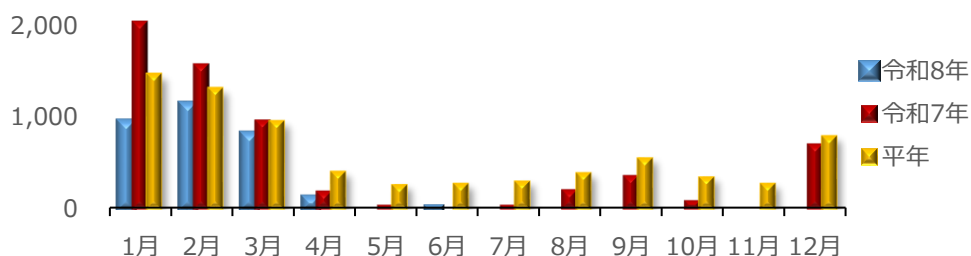
3,000 (トン)

➤ 前年同月比： -%

○ 輸入先国ベスト3

全量、中国からの輸入

(財務省貿易統計)



9. 一口メモ

7月、長野・群馬産主体の入荷となった。中旬までは6月の低温・降雨、梅雨明け後の高温・干ばつの影響で入荷が減少して価格が上がった。下旬は入荷量の増加で価格は下がるも、月を通して平年を上回る価格となった。

8月は、前月に引き続き長野・群馬産主体の出荷となる。長野産は7月中旬以降の高温の影響はあるが大幅な出荷量の減少は見込まれず、群馬産は7月中旬の豪雨の影響で一部生育不良等があり出荷量は平年をやや下回る見込みであるものの、全体として出荷量・価格とも平年並みで推移する見込み。

本データは全てベジ探から入手できます。

詳細はベジ探をご覧ください。

ベジ探： <https://vegetan.alic.go.jp/>

農畜産業振興機構

野菜業務部 管理業務課

やさいレポート（令和8年8月号）

きゅうり

発行日：令和8年8月7日

1. 卸売価格の動向

○541 円/kg（8月4日）

➢ 平年比：194%

○8月の価格見通し

やや平年を上回って推移

（農林水産省、東京都中央卸売市場）

2. 小売価格の動向

○699 円/kg

（7月10日全国平均）

➢ 前月比：128%、平年比：137%

➢ 東京：251 円（3本）

➢ 大阪：72 円（1本）

○特売店舗数／調査店舗数

➢ 東京：5/20（前月 7/20）

➢ 大阪：3/10（前月 5/10）

（機構調べ）

3. 家計消費動向

○238 g/人（6月全国平均）

➢ 前月比：84%

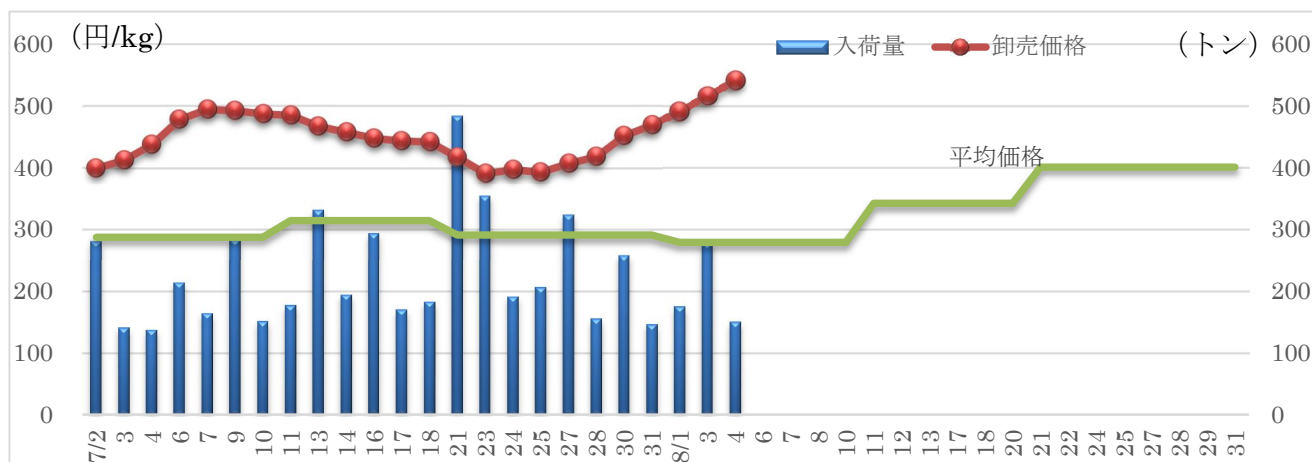
➢ 前年同月比：94%

○2,283 g/人（2025 年間）

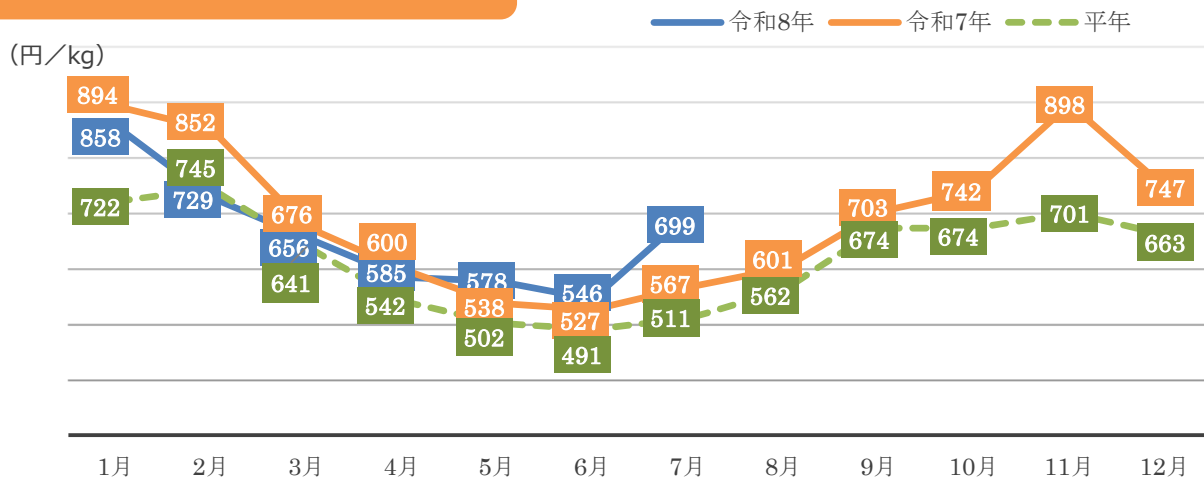
➢ 前年比：101%

（総務省統計局家計調査）

4. きゅうりの卸売価格と入荷量の推移（東京都中央卸売市場）



5. きゅうりの小売価格の推移



6. 主産地の生育・出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
岩手県岩手中央 (7/14)	減少	平年並み	遅い	遅い
宮城県みやぎ仙南 (7/14)	減少	平年並み	平年並み	平年並み
秋田県JAかつの (7/14)	前年並み	やや不良	遅い	遅い
山形県山形 (7/10)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
福島県福島南部 (7/8)	前年並み	平年並み	平年並み	遅い
和歌山県紀ノ川中央 (7/27)	減少	平年並み	早い	早い
愛媛県周桑 (7/15)	前年並み	やや不良	やや遅い	－

※特記ない場合は平年比。()内は調査日。

(機構調べ)



宮城県みやぎ仙南：圃場の様子

7. 向こう1ヶ月の気象情報 (8/8～9/4)

週 別 の 天 候				
8/8～8/14	北日本では、天気は数日の周期で変わって来よう。 東日本日本海側では、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 東日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 西日本と沖縄・奄美では、台風第13号の影響を受けやすいため平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。			
8/15～8/21	北日本では、天気は数日の周期で変わりますが、高気圧に覆われやすいため、北日本日本海側では、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 東日本日本海側、西日本では、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 東日本太平洋側、沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。			
8/22～9/4	北日本では、天気は数日の周期で変わって来よう。 東・西日本と沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。			
		平均気温 (1か月)	降水量 (1か月)	日照時間 (1か月)
北日本	日本海側	低20 並30 高50%	少50 並30 多20%	少20 並40 多40%
	太平洋側	高い見込み	少ない見込み 少40 並30 多30%	平年並みが多い見込み 少30 並40 多30%
東日本	日本海側	低10 並40 高50%	少50 並30 多20%	少20 並30 多50%
	太平洋側	高い見込み	少ない見込み 少30 並40 多30%	多い見込み 少40 並30 多30%
西日本	日本海側	低10 並30 高60%	少40 並40 多20%	少30 並40 多30%
	太平洋側	高い見込み	平年並みか少ない見込み 少30 並40 多30%	ほぼ平年並みの見込み 少40 並30 多30%

(気象庁1カ月予報)

8. 輸入動向 (生鮮きゅうり及びガーキン)

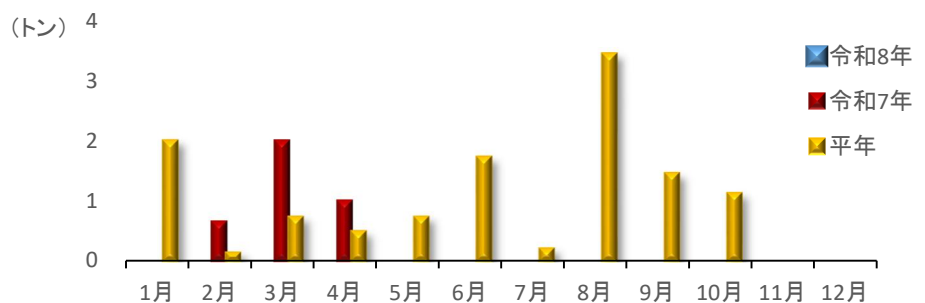
○ 0 t (6月輸入量)

➤ 前年同月比：0%

○ 輸入先国ベスト3

輸入実績なし

(財務省貿易統計)



9. 一口メモ

7月は、福島産主体の東北産中心の入荷となった。6月の低温・曇天、7月の高温・干ばつ等で生育が遅延し、入荷量は月を通して平年を2割近く下回った。後半に向けて入荷量が増加し、価格は下げ基調となったが、需要も高く、月を通して平年を大幅に上回った。

8月は、福島産が主体で東北産中心の出荷となる。主産地において6月の低温・曇雨天で生育遅延する産地が見られ、7月の高温による生育不良も見込まれることから、出荷量は平年をやや下回り、価格は平年をやや上回って推移する見込み。

本データは全てベジ探から入手できます。
詳細はベジ探をご覧ください。

ベジ探：<https://vegetan.alic.go.jp/>

農畜産業振興機構

野菜業務部 管理業務課

やさいレポート（令和8年8月号）



トマト



発行日：令和8年8月7日

1. 卸売価格の動向

○**483 円/kg**（8月4日）

➤ 平年比：137%

○8月の価格見通し

前半は平年並みで推移

後半は平年を上回って

推移

（農林水産省、東京都中央卸売市場）

2. 小売価格の動向

○**743 円/kg**

（7月10日全国平均）

➤ 前月比：112%、平年比：124%

➤ 東京：447 円（3 個）

➤ 大阪：154 円（1 個）

○特売店舗数／調査店舗数

➤ 東京：6/20（前月 8/20）

➤ 大阪：1/10（前月 2/10）

（機構調べ）

3. 家計消費動向

○**358 g/人**（6 月全国平均）

➤ 前月比：86%

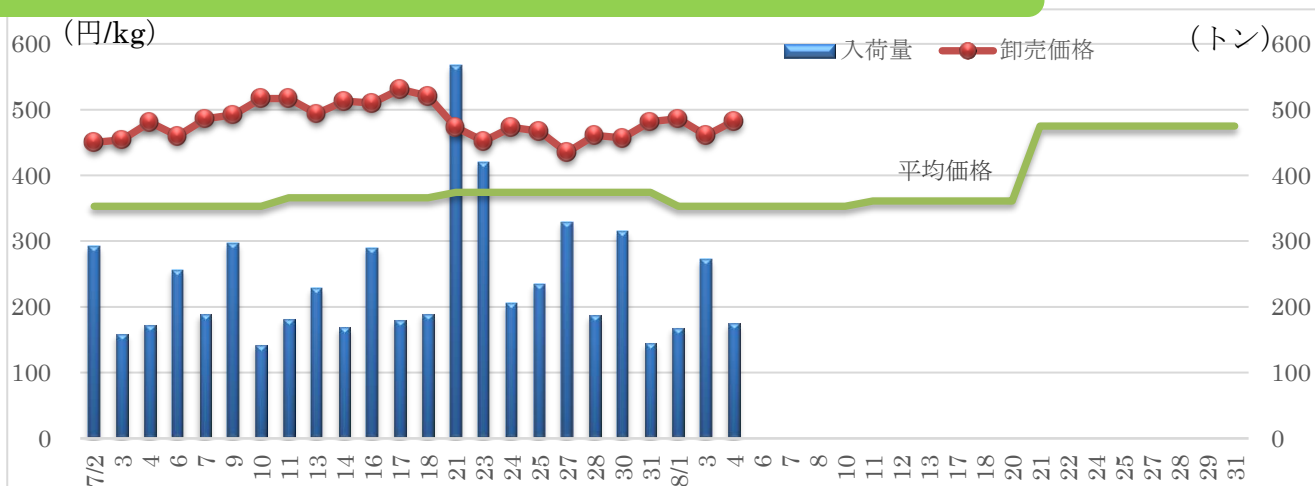
➤ 前年同月比：86%

○**3,297 g/人**（2025 年年間）

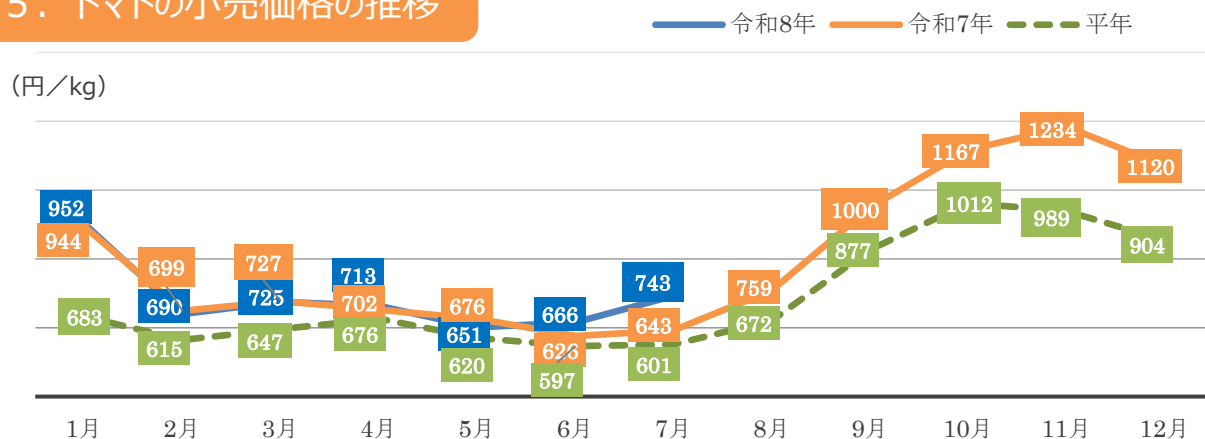
➤ 前年比：99%

（総務省統計局家計調査）

4. トマトの卸売価格と入荷量の推移（東京都中央卸売市場）



5. トマトの小売価格の推移



6. 主産地の生育・出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
青森県津軽中部 (7/10)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
福島県福島南部 (7/13)	前年並み	やや不良	平年並み	平年並み
岐阜県飛騨 (7/14)	増加	平年並み	平年並み	平年並み
静岡県小笠 (大玉) (6/16)	前年並み	やや不良	平年並み	平年並み
山口県阿東地区 (7/30)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
大分県竹田市 (7/13)	前年並み	やや不良	平年並み	平年並み

※特記ない場合は平年比。()内は調査日。

(機構調べ)



岐阜県飛騨：ハウス内の様子

7. 向こう1ヶ月の気象情報(8/8~9/4)

週 別 の 天 候				
8/8~8/14		北日本では、天気は数日の周期で変わって来よう。 東日本日本海側では、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 東日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 西日本と沖縄・奄美では、台風第13号の影響を受けやすいため平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。		
8/15~8/21		北日本では、天気は数日の周期で変わりますが、高気圧に覆われやすいため、北日本日本海側では、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 東日本日本海側、西日本では、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 東日本太平洋側、沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。		
8/22~9/4		北日本では、天気は数日の周期で変わって来よう。 東・西日本と沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。		
		平均気温(1か月)	降水量(1か月)	日照時間(1か月)
北日本	日本海側	低20 並30 高50% 高い見込み	少50 並30 多20% 少ない見込み	少20 並40 多40% 平年並み多い見込み
	太平洋側		少40 並30 多30% ほぼ平年並みの見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並みの見込み
東日本	日本海側	低10 並40 高50% 高い見込み	少50 並30 多20% 少ない見込み	少20 並30 多50% 多い見込み
	太平洋側		少30 並40 多30% ほぼ平年並みの見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並みの見込み
西日本	日本海側	低10 並30 高60% 高い見込み	少40 並40 多20% 平年並みか少ない見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並みの見込み
	太平洋側		少30 並40 多30% ほぼ平年並みの見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並みの見込み

(気象庁1カ月予報)

8. 輸入動向(生鮮トマト)

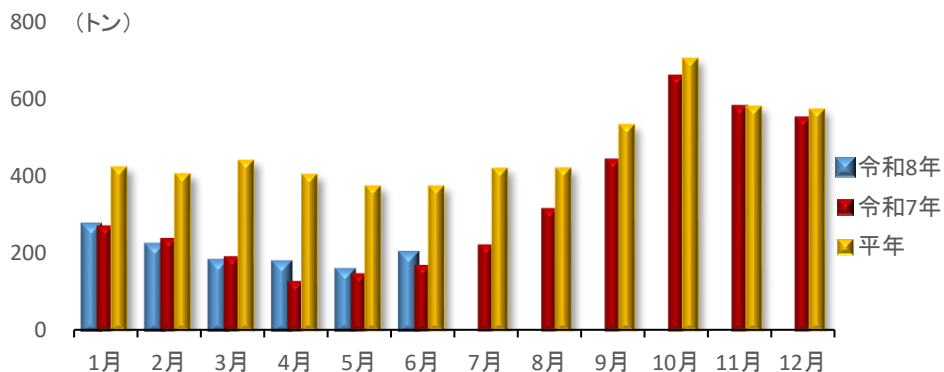
○195トン(6月輸入量)

➤ 前年同月比: 118%

○輸入先国ベスト3

- 1位 韓国 154トン
- 2位 カナダ 25トン
- 3位 メキシコ 9トン

(財務省貿易統計)



9. 一口メモ

7月は、北海道・青森・岩手産中心の入荷となり、栃木産は月前半でほぼ終了した。6月の低温・曇天、7月の高温・干ばつ等で生育遅延や着色不良により、入荷量は月を通して平年を1割以上下回った。価格は中旬までは端境により上がり、下旬は入荷量も増えて下がったものの、月を通して平年を大幅に上回った。

8月は、北海道・福島・群馬産主体の出荷となる。6月の低温による生育遅延は回復傾向も、7月の高温で着果不良が懸念されることから、月の前半は出荷量・価格は平年並みで推移し、月の後半は出荷量は平年を下回って推移し、価格は平年を上回って推移する見込み。

本データは全てベジ探から入手できます。

詳細はベジ探をご覧ください。

ベジ探 <https://vegetan.alic.go.jp/>

農畜産業振興機構

野菜業務部 管理業務課

やさいレポート（令和8年8月号）

ねぎ

発行日：令和8年8月7日

1. 卸売価格の動向

○407 円/kg（8月4日）

➤ 平年比：101%

○8月の価格見通し

平年並みで推移

（農林水産省、東京都中央卸売市場）

2. 小売価格の動向

○899 円/kg

（7月10日全国平均）

➤ 前月比：111%、平年比：108%

➤ 東京：225 円（2本）

➤ 大阪：148 円（1本）

○特売店舗数／調査店舗数

➤ 東京：7/20（前月6/20）

➤ 大阪：1/10（前月1/10）

（機構調べ）

3. 家計消費動向

○90 g/人（6月全国平均）

➤ 前月比：89%

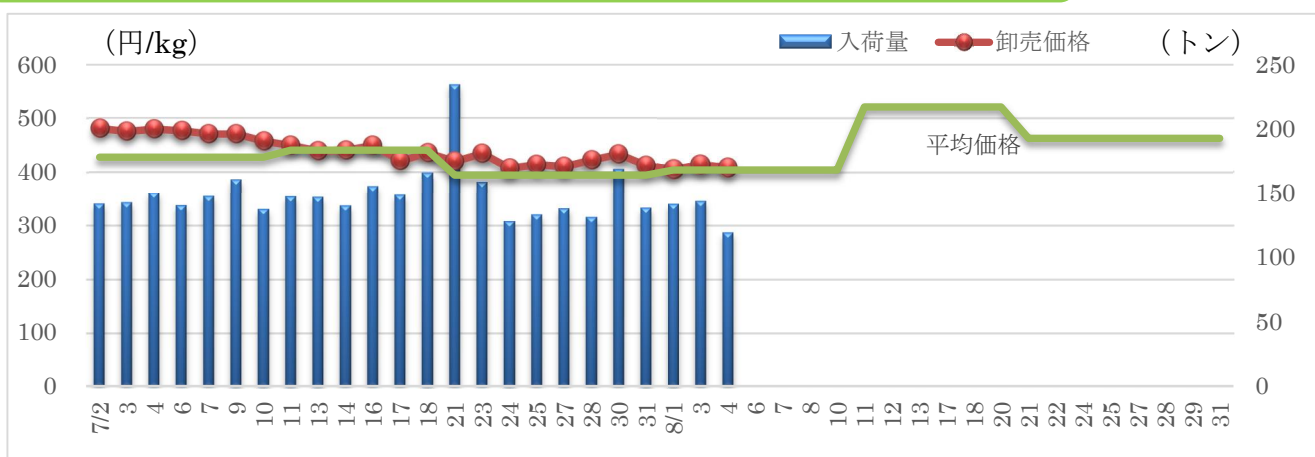
➤ 前年同月比：104%

○1,407 g/人（2025 年年間）

➤ 前年比：96%

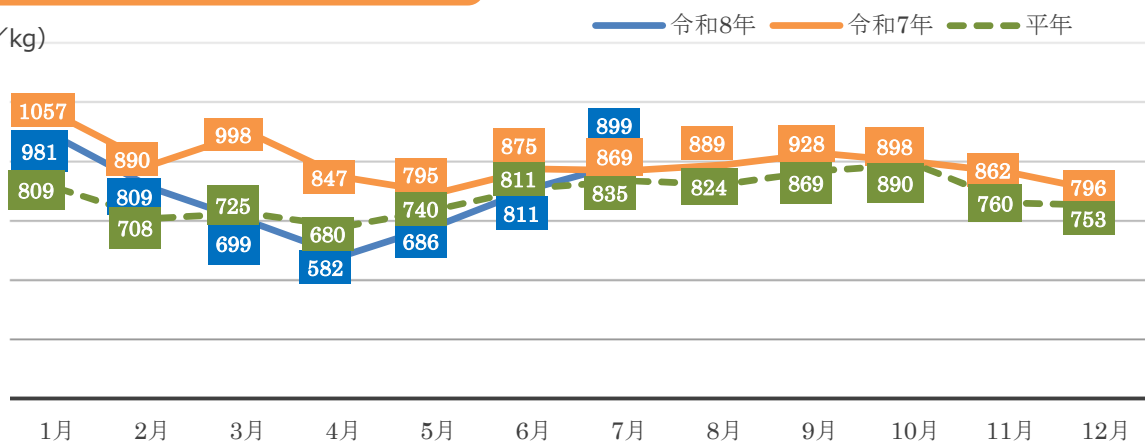
（総務省統計局家計調査）

4. ねぎの卸売価格と入荷量の推移（東京都中央卸売市場）



5. ねぎの小売価格の推移

(円/kg)



6. 主産地の生育・出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
青森県津軽北西部 (7/13)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
宮城県中新田・加美町 (6/4)	前年並み	平年並み	平年並み	－
秋田県能代 (6/24)	前年並み	やや良	早い	早い
茨城県西 (7/15)	前年並み	やや良	やや早い～ 平年並み	やや早い～ 平年並み
埼玉県JAふかや南部 (5/29)	前年並み	平年並み	平年並み	－
千葉県JAちばみどり (6/22)	前年並み	平年並み	遅い	－
静岡県磐田 (7/9)	前年並み	平年並み	平年並み	－
鳥取県鳥取西部 (6/8)	前年並み	やや不良	遅い	－
大分県豊後高田市 (5/27)	前年並み	やや不良	遅い	遅い

※特記ない場合は平年比。()内は調査日。

(機構調べ)



静岡県磐田：圃場の様子

7. 向こう1ヶ月の気象情報 (8/8～9/4)

週 別 の 天 候				
8/8～8/14	北日本では、天気は数日の周期で変わります。東日本日本海側では、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。東日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。西日本と沖縄・奄美では、台風第13号の影響を受けやすいため平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。			
8/15～8/21	北日本では、天気は数日の周期で変わりますが、高気圧に覆われやすいため、北日本日本海側では、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。東日本日本海側、西日本では、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。東日本太平洋側、沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。			
8/22～9/4	北日本では、天気は数日の周期で変わります。東・西日本と沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。			
		平均気温 (1か月)	降水量 (1か月)	日照時間 (1か月)
北日本	日本海側	低20 並30 高50% 高い見込み	少50 並30 多20% 少ない見込み	少20 並40 多40% 平年並か多い見込み
	太平洋側		少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み
東日本	日本海側	低10 並40 高50% 高い見込み	少50 並30 多20% 少ない見込み	少20 並30 多50% 多い見込み
	太平洋側		少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み
西日本	日本海側	低10 並30 高60% 高い見込み	少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み

(気象庁1カ月予報)

8. 輸入動向 (生鮮ねぎ)

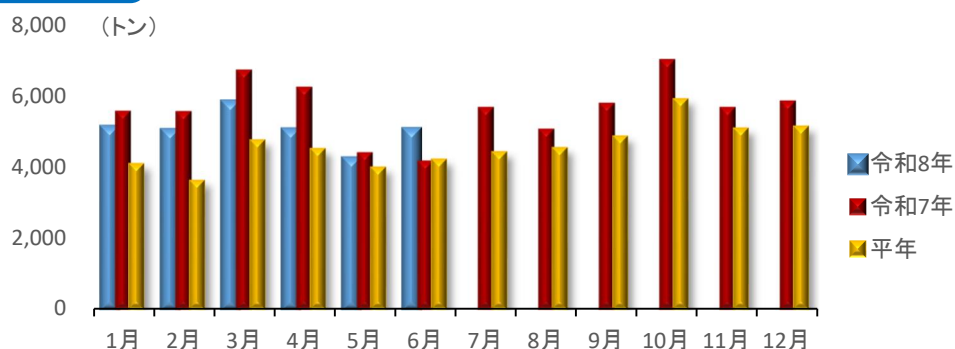
○5,013トン (6月輸入量)

➢ 前年同月比：121%

○輸入先国ベスト3

全量、中国からの輸入

(財務省貿易統計)



9. 一口メモ

7月は、茨城・千葉産主体の入荷となり、中旬から産地の切り替わりから北海道・東北産も入荷された。降雨や気温の上昇とそれに伴う品質の低下が見られ、旬を追うごとに価格は下がったが、月間では平年を上回る価格となった。

8月は、茨城・北海道・東北産主体の出荷となる。主産地の生育は概ね順調なことから、出荷量・価格とも平年並みで推移する見込み。

本データは全てベジ探から入手できます。

詳細はベジ探をご覧ください。

ベジ探：<https://vegetan.alic.go.jp/>

農畜産業振興機構

野菜業務部 管理業務課